



一般財団法人 日本熊森協会主催

# 森林環境税・譲与税の学習会

森林環境税で放置人工林を豊かな天然林に再生を

日時:8月24日(土曜日)13時~14時30分(学習会)

14時30分~16時(参加者懇談会)

場所:東京(渋谷)ウイメンズプラザ視聴覚室A

定員:お申込み順で35名(無料)

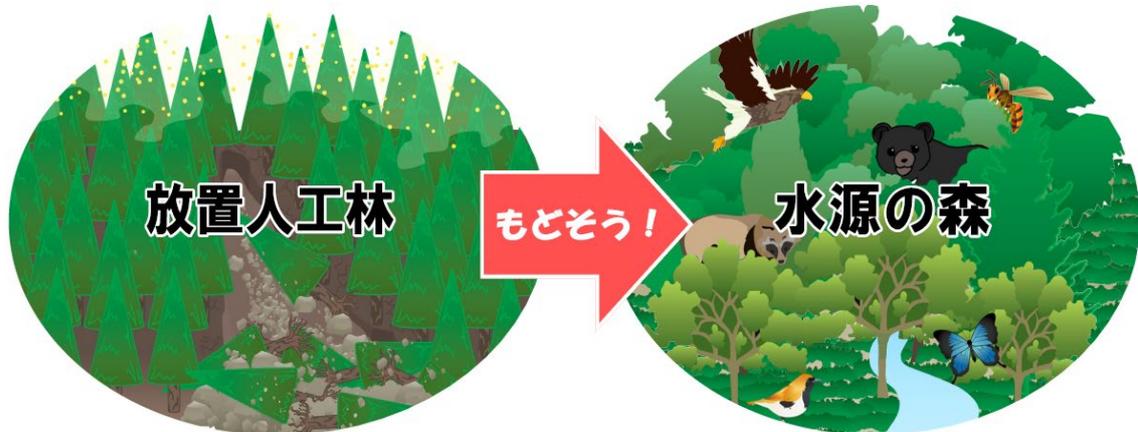
申込み先:日本熊森協会本部

[E-mail contact@kumamori.org](mailto:E-mail_contact@kumamori.org)

☎ 0798-22-4190(ひるい)

災害防止

水源・生物多様性保全のため



【講師】室谷 悠子 (一財)日本熊森協会 会長 (弁護士)

住民1人につき1,000円/年を徴収した、森林環境税620億円を、森林環境譲与税として全国の自治体に交付し、森林整備等に充てる法律が先の国会で成立しました。

税の徴収は、2024年からですが、森林環境譲与税は、今年から各自治体に交付されます。

日本熊森協会は、森林環境税・譲与税は、全国で大荒廃している放置人工林を、保水力や生物多様性に富む**水源の森再生**にこそ、使われるべきと訴えてきました。

森林行政の**大きな転換期**です。今後、全国・各地で森林環境税・譲与税を使った、豊かな森再生を進めていくために、私たちは、何をすべきか、一緒に考え、行動していきましょう!

# 手遅れになる前に、日本の森再生を



放置人工林の内部



大雨による山崩れ

戦後の拡大造林政策により、伐り出すこともできない奥山にまで植えられたスギやヒノキなど針葉樹の人工林 1030 万haのうち、3分の2が放置されて大荒廃しています。広大な放置人工林は、山の保水力を著しく低下させ、豪雨のたびに崩れて人命や財産が失われています。また、スギ・ヒノキから発生する大量の花粉により、花粉症が大発生しています



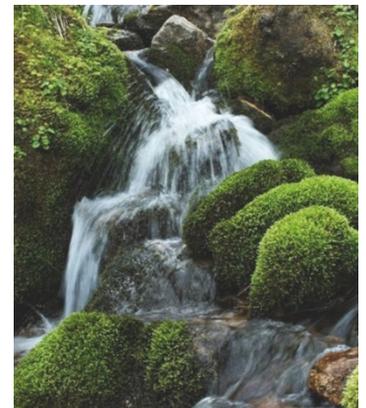
時事通信社

昨年の北九州豪雨、今年の西日本豪雨でも多くのスギ・ヒノキの人工林が崩壊し、亡くなられた方も多数に及んでいます。

地球温暖化が原因と指摘される異常気象が続く中、災害に強い森をつくるためにも天然林再生が急務です。

## 保水力豊かな天然

(一財) 日本熊森協会と (公財) 奥山保全トラストは、地元住民や森林組合と協力しながら放置人工林の天然林化事業を進めており、豊かな森再生のため全国でこの流れが広がりたいと考えています。



# 水源確保、災害防止のため、放置人工林を天然林へ

(公財) 奥山保全トラストによる放置人工林の天然林化事業より



Google Earth

